

店

平成 13 年 9 月 13 日

各 位

本社所在地
会 社 名 株式会社 X Y Z
コ ー ド 番 号 店頭登録登録銘柄
代 表 者 代表取締役社長
問 い 合 わ せ 先 社長室長
電 話 番 号

平成 13 年 9 月期通期の連結・単体業績予想の修正について

平成 13 年 5 月 14 日付当社「平成 13 年 9 月期の業績見通しについて」、及び平成 13 年 6 月 15 日付「平成 13 年 9 月期中間決算短信（連結）」にて発表しました通期業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 13 年 9 月期（平成 12 年 10 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日）連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）			
今回修正（B）			
増減額（B - A）			
増減率			
前期実績（ ）			

ご参考：平成 12 年 9 月期（平成 11 年 10 月 1 日～平成 12 年 9 月 30 日）

2. 平成 13 年 9 月期（平成 12 年 10 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日）業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）			
今回修正（B）			
増減額（B - A）			
増減率			
前期実績（ ）			

ご参考：平成 12 年 9 月期（平成 11 年 10 月 1 日～平成 12 年 9 月 30 日）

3.修正理由

今期の連結・単体通期業績予想につきましては、通期で連結売上高 25,555 百万円（うち上半期 12,382 百万円、下半期 13,173 百万円）、単体売上高 15,819 百万円（うち上半期 8,224 百万円、下半期 7,595 百万円）を計画し、下半期の業績を見込んでおりました。

当グループの中心であります株式会社XYZではスポット事業の大半を担っておりますが、6月以降携帯電話等の在庫作業に関する受注をはじめ、IT産業からの受注に大幅な減少が見られました。しかしながら、6月は猛暑の影響もあり、先の減少を補う形で衣料の入出荷に関する受注があり、結果としてこの変化に対応することにタイムラグが生じてしまいました。

このため売上高が減少する中で販管費の抑制が遅れる形となり、経常利益率を引き下げる事となりました。

また、関西以西における不況の深刻化に伴い、引越、イベント関連の受注も減少しております。このため、売上総利益率の低下もこの地域を中心としてみられております。

一方スポット事業の一翼を担っております株式会社XYZ Serviceでは、経済のソフト化を背景にアウトソーシング事業が伸び、今期売上高 3,291 百万円を計画しておりましたが、3,322 百万円の今回修正売上高となっております。

次にファクトリー事業におきましては、今期売上高 3,588 百万円を計画し、今回修正では 3,464 百万円見込でありますが、今後の業用拡大を見越し内部管理者および教育人員を先行して採用した結果人件費が増大し、経常利益 179 百万円（前回予想 309 百万円）と前回予想より減少する見込です。

テクニカル事業の大部分を占め、技術者派遣を行っております株式会社 Technical イズでは、今期売上高 3,096 百万円を計画し、今回修正売上高では 2,925 百万円を予定しておりますが、これは待機社員の増加に伴うものであり、それに伴い経常利益は、125 百万円（前回予想 203 百万円）と前回予想より減少する見込となりました。

上場されている保有有価証券につきましては、現状の市況を考慮し、特別損失として投資有価証券評価損 100 百万円を見込んでおります。

以上の理由により、今回連結・単体の通期業績予想につきまして、下方修正を行うものであります。

以上